

あさかわ

議会だより

No. 109

平成29年11月1日

福島県浅川町議会

わーい、やったー！

浅川幼稚園運動会



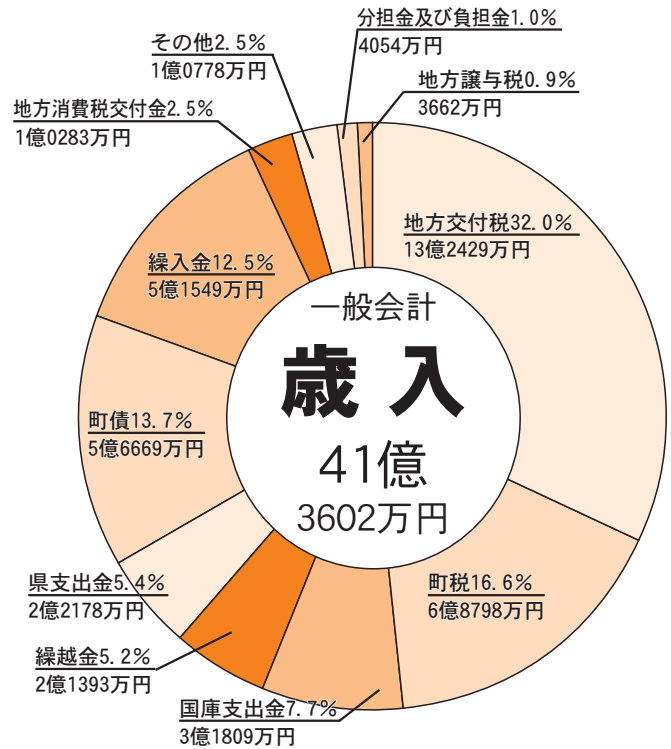
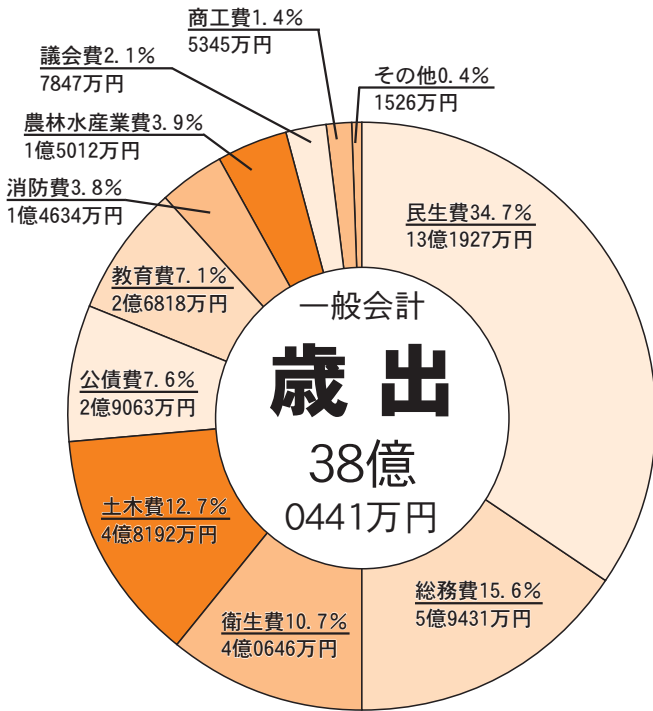
28年度決算審議	2
補正予算 幼稚園バス増車	6
一般質問 5人の議員が町政をたず	8
視察研修 岩手県紫波町	14
シリーズ2 東北のミケランジェロ 小松寅吉	15
町民の声	16

会計決算

財政の健全化を維持

財政調整基金

(町の貯金)は **6億8270万円**



一般会計 1億9400万円の黒字決算

9月議会定例会

9月議会定例会は、9月11日から14日までの4日間の会期で開かれました。一般質問では、5人の議員が24項目について質問し、活発な議論が展開されました。また、条例の一部改正や補正予算などを審議し原案通り可決しました。平成28年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定については、原案の通り認定しました。

健全化判断比率

一般会計の歳入は、歳入総額41億3600万円となり、前年対比118.2%で27年度より6億3700万円の増でした。一方歳出では、総額38億4000万円となり、前年対比115.8%で5億2000万円の増でした。繰越額を差し引いた実質収支は1億9400万円です。黒字決算となりました。

財政健全化指標は、実質公債費比率8.5%（前年度比1.3ポイント減）将来負担比率22.4%（同19.5ポイント増）となり、きびしい財政状況の中、財政健全化に向けた努力がなされました。

認定

28年度一般

28年度の
主要な事業



学校給食費の半額助成 1729万円



幼保一体化施設敷地造成工事
1億5500万円



第5分団(山白石)第3班積載車購入
577万円

監
査
報
告

本多代表監査委員 審

査に付された各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は関係法令に準拠して作成されており、その係数は誤りのないことを確認した。また予算の執行及び関連する事務の処理は適正に行われているものと認めた。

《総評》

係数に誤りがなく各証書類もよく整備されている。町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料の収入未済額の徴収に最大の努力を行われることを切に要望する。

ここが
聞きたい

一般会計 決算審議

浅川町巡回バスの 試運行がはじまります!!

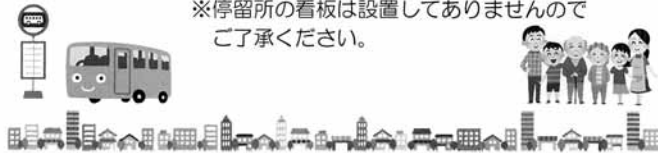
浅川町内を走る巡回バスの試運行が11月より始まります。この事業は、地方創生事業における買い物弱者等への支援策の一つとして試行的に実施するものです。試運行ということもあり運行ルートは2ルートとなりますが、どなたでも無料で乗車できますので、ぜひご利用ください。

★運行期間 平成29年11月1日(水)
～平成30年3月30日(金)
上記期間中の月・水・金曜日
※祝日・12月29日(金)～1月3日(水)
を除く。

☆運行区間 ①山白石、里白石・福貴作～浅川町内
②大草～浅川町内

★運行時間 停留所ごとの運行時間については
裏面をご覧ください。

☆停留所 裏面をご覧ください。
※停留所の看板は設置してありませんので
ご了承ください。



【お問い合わせ】 浅川町役場総務課 ☎36-4121

地方創生3事業の調査結果は

問 地方創生事業として、農産物加工製造販売ニーズ調査、小さな拠点づくり調査、巡回バス運行ニーズ調査が行われたが、その結果はどうだったのか、概要を伺う。

答 住民ニーズの調査としてアンケートを行った。農産物加工に関しては、野菜の作付等や自分の所で食べて余った場合の処理の方法を伺ったりした。巡回バスのについては、高齢者のバスの保有状況、出かけ先等を調査した。野菜の農産物加工については参加したい、そ

う思わないが半々で、は、ぜひ利用したい、参加したい方がいるのを確認した。巡回バスが概ね6割程度あった。

町有林の森林賠償は

問 東電に対し町有林の森林賠償を請求したのか。

答 東電と何度かやりとりしたが、町としての販売実績がなく売りの提出ができないため賠償の対象にならないというので、請求はしていない。



▲山白石橋上沢地内の町有林

学校給食半額助成で 保護者の受けとめは

問 28年度は学校給食費の半額助成が実施されたが、保護者の受け止めはどうか。また、給食費の滞納はあったのか。

答 複数の保護者からの声で、子育て支援の観点からも大変助かっていまして聞いている。給食費の滞納はない。

2年連続の収納率向上 どのように取り組んだのか

問 町税全体の収納率が4・7%増え、収入未済額が9・9%減り、軽自動車税が2年連続100%納入を達成した。以前はこんなに良くなかったが、どのような取り組みをしたのか。一方、滞納者の状況を十分配慮した徴収がなされているのかも伺う。

答 年4回の催告で連絡・納付のない人に電話催告及び臨戸徴収を行い、滞納者本人と必ず話をして納付約束を取りつけるよう行っている。納付にはなるが納期限に遅れる人には、口座振替や水曜日の延長窓口を利用するようお話ししている。相談を受けた滞納者には、その方に合った無理のない徴収を行っている。



▲衛生に気を使って作られている学校給食

討論

― 反対討論 ―

角田議員

28年度最大の事業である幼保一体化施設建設事業は、将来にわたり子どもが増える見込みがないもので過大な施設を造るもので賛成できない。適正規模にすれば町有地であるJT跡地に造ることも可能だったはずで、今年度の造成費1

億5千万円も支出しなくて済んだと考える。

田中議員

いくつかの事実実施にあたり、拙速で荒っぽい行政執行が行われている。宅造特別会計への一般会計からの繰り出し金返還についても議会での説明はほとんどされず、町長の行政報告のみで済ました。このような行政執行が続けば、町行政は大きくゆがめられる。

― 賛成討論 ―

久保木議員

歳入においては徴収事務に力を入れ、収納の向上に努めた。歳出では、各般にわたり重要な施策を実施したので賛成する。

江田議員 子どもから百歳老人まで、町民のため、豊かな生活ができるような歳出の配分になった。町税、各分担金、使用料の収入未済額が前年対比92・5%に減少したことは、町民にとって大変すばらしい。幼保一体化施設が前進し、子どもたちの福祉向上につながっている。決算も黒字決算になっている。

採決

賛成8人、反対3人で認定しました。

29年度一般会計補正予算

教育費備品購入の

500万円は

— 幼稚園バスを
1台増車する —



▲購入予定と同タイプの園児バス

問 教育費の中で備品購入費500万円が計上されているが、何を購入するのか。

答 来春オープンのごども園開園に向けて、園児の増加に伴い、現在マイクロバス2台で走っているが1台増車したいと考えている。この1台については、ワンボックスの形の4WDを予定していて、なるべく山間部を走る予定をしている。

がん検診なぜ有料化

— 他町村もとっている —

金額で対応していかないと将来的なこともある。

問 他の町村がやっているからって、今までだって何十年そうだったではないか。今回上げるのは納得できない。

答 この問題は内部で精査してみたい。

問 無料化を続ける方向で検討するのか。

答 ここで有料か無料かの初めて議論が出たが、その内容を踏まえて、どれが正しい道なのか、内部でもう一度原点に返って検討してみたい。

【討論】

— 反対討論 —

上野議員 ガン検診はお金を取られるなら受けないという人もいます。がんにならない町づくりを目指し早期発見早期治療の促進に全く逆

行するもので、この有料化は議会に説明もなかった。

採決
賛成8人、反対3人で可決しました。



▶がん検診車
(町保健センター)



同意第13号

教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員 緑川貴司氏は平成29年9月30日で任期満了となるので次の者を教育委員会の委員に任命するもの。

住所

浅川町大字里白石字出シ140番地

氏名

富永善弘

生年月日

昭和54年1月

採決

全会一致で同意しました。

同意第14号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員 小山田輝雄氏は平成29年12月31日をもって任期満了となるので次の者を人権擁護委員の候補者に推薦するもの。

住所

浅川町大字山白石字曲屋86番地

氏名

小山田輝雄

生年月日

昭和24年1月

採決

全会一致で同意しました。



9月定例会採決一覧

○賛成

×反対

議長は採決に加わらない

全26議案中、賛否が分かれた議案は次のとおりでした。

議案名	渡辺幸雄	金成英起	須藤浩二	緑川富士男	江田文男	笹島亮二	水野秀一	田中重忠	上野信直	角田勝	久保木芳夫	円谷忠吉	議決結果 (賛成：反対)
平成28年度浅川町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—	認定 (8：3)
平成28年度浅川町宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	認定 (10：1)
平成28年度浅川町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	認定 (10：1)
平成28年度浅川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	—	認定 (9：2)
平成29年度浅川町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	—	認定 (8：3)
平成29年度浅川町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	認定 (10：1)
平成29年度浅川町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	—	認定 (10：1)

5人の議員が質問

(通告順)

1 江田文男議員

- (1) 浅川駅前から国道118号線、役場庁舎前から国道118号線に抜ける道路はいつ着工し完成するのか
- (2) 浅川小・中学校で熱中症でかなり具合が悪くなった生徒がいたと思うが安全対策は大丈夫だったのか
- (3) 近隣町村の宿泊施設、温泉施設と業務提携してはどうか

2 田中重忠議員

- (1) 高齢者の買物、通院、子どもの通学等の交通対策について
- (2) 小学校3校統合への適切な配慮と対応について
- (3) 町の財政運営と教員数について
- (4) 宅地造成事業特別会計について
- (5) 地方創生拠点整備事業について
- (6) 特老入所判定者の実待機者数について
- (7) 横領公金の全額回収について

3 水野秀一議員

- (1) 小学校の統合について
- (2) 農作物を鳥獣被害から守る電気柵設置に助成を

4 上野信直議員

- (1) 困難になりつつあるゴミ集積所の確保は町が責任を持つべきではないか
- (2) 町が借りている土地の中で異常に高い借地料を払っている問題への対応は
- (3) 町の防犯灯は、球が切れにくいLED化を計画的に進めるべきではないか
- (4) 来年度から始まる国保の広域化による国保加入者への影響は
- (5) 保育料の無料化、保育時間の延長などで子育て支援の一層の充実を
- (6) 来年度の介護保険計画見直しと介護保険料改定でどう変わるのか

5 角田勝議員

- (1) 小学校の統合は保護者、地元、そして子ども達の声を尊重して進めること
- (2) 町の図書館について
- (3) 町道管理(草刈りなど)をするための人員を増員し、賃金など引上げよ
- (4) 駅前から国道118号線、町道大明塚線の工事について
- (5) 猪など有害獣への対策強化を施設への助成策をすべき
- (6) 町内に何としても宿泊施設をつくるために町は努力すべき

町の考えを
ただす

町民の声を
伝える

町政に
生かす

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。

一般質問は9月12日に行われ、5議員が質問を行い、真剣な議論を3人の方が傍聴しました。

※浅川町議会の一般質問は、時間制限はありませんが、1問について質問は3回まで(質問、再質問、再々質問)というルールで行われています。

一般質問

一般質問とは、議員がその町村の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるものである。

役場前通りから国道118号に抜ける道路の完成は

平成32年度完成を目指している



江田文男議員

問 役場庁舎前から国道118号線に抜ける道路はいつ始まるのかと町民に聞かれる。そこで浅川駅前から国道118号線に抜ける道路は、土地地権者の説明と買収契約は終了しているかと聞いていますが、いつ頃着工し完成するのか。また、役場庁舎前から国道118号線に抜ける道路も、土地地権者の説明と買収も終了していると思うが、いつ着工し完成するのか伺う。

町長 磐城浅川停車場線の延伸計画は、県が事業主体で業務を進めている。測量及び境界

立会いまでは完了しているが、事業として採択になっていないため、用地買収はされておらず、工事の着手となっていない。
町道大明塚、背戸谷地線は用地買収が完了し、本年度着手し、平成32年度完成を目指す。



▲信金前交差点から予定地方向

熱中症の安全対策は

水分補給や休憩時を設ける指導する

問 今年5月頃から異常と思うほど気温が上昇し、暑かったと思う。小学生においては5月頃から暑さのせいか気分が悪くなり、保健室に運ばれたと思う。その後6月、7月と暑さで気分が悪くなる生徒が多かったとも聞いている。中学校の生徒も授業をはじめ部活等での熱中症はどうだったのか。小中学生においてはは無理はなかったのか。安全対策は万全だったのか。

たのは、7月に浅中学生2名のみだった。特設陸上部の朝練習の際、気分不良を訴え、水分補給、アイシング処置等をした結果、通常どおり授業を受けた旨の報告があった。

浅小においては、気分が悪く保健室を利用した児童はいたが、熱中症はいなかった。対策として教室での空調等温度管理の徹底、児童においては水筒持参による水分補給の励行、部活動の際、定期的な水分補給や、休憩時間を設け熱中症予防対策を指導して参りたい。

教育長 町内小中学校を調査した結果、熱中症の疑いで保健室に来

小学校3校統合は 31年4月にすべき

時期はこれから決定したい



田中重忠議員

問

町長はこれまで「ロードマップは白紙の状態、いよいよ統合することになったから、改めて現実に合わせてロードマップをつくります。とそれで良いんでしょう」などと答弁してきたが、6月議会開会后一転して統合に向かつて「猛スピード」で突き進んでいる。長い歴史ある両校の統合は、町長の思いつきや気まぐれで進めるべきものではない。

①開校130年の歴史を閉じる閉校式等地元の要望などを考慮し、平成31年4月統合にすべきではないか。

②両校校舎、体育館、

町長

グラウンドの利活用と維持管理について。

③施設の売却貸付は地元と協議して進め、体育館は避難所として整備すべきではないか。

①統合する時期はまだ決定していない。これから決定したいと考えている。

教育長

跡地利用は、非常に重要な問題であると認識しており引き続き情報収集を行い、地域住民の理解が得られるよう検討していく。また避難所としての整備や、企業に売却または、貸付等については、今後の検討とする。

▼浅川小学校



横領公金の 全額回収への取り組みは

引き続き努力している

問

町と地元金融機関4行は「町指定金融機関と収納代理金融機関としての公金の取扱いについて」の契約を交わしているが、町長は「町は郵便局に対する損害賠償請求権はございません」などの答弁を繰返し、郵便局と町指定金融機関に対してただの一度も損害賠償請求をしていない。

①横領被害公金の未回収金額は現在いくらか。

②町長は横領公金の回収にどのような取り組みができたのか。

③郵便局と他の金融機関に対し請求したのか。

④町長は、この問題を最終的にどのように解決する考えか。

町長

①平成29年3月31日現在、元金、費用及び利子を含め、1963万208円となっている。

②横領した元職員に全額弁済の義務があるので、督促状を送付し損害賠償の請求、預金口座の差押えをした。

③金融機関等に対して請求等は行っていない。

④以前から申し上げているとおり、弁護士と相談した結果、請求できないとの判断から請求していない。

小学校統合時期は 30年4月か31年4月か



水野秀一議員

まだ決定していない

問 6月議会の町長の報告から、町と保護者との協議会が何回か開かれた。山白石小、里白石小とも統合について異論はなかったものの、統合の時期を30年4月か31年4月にするかで28日に最終的に話し合った結果、保護者より31年に統合してほしいとの声が多くこの日の協議会は閉会した。町として、今後この統合時期をどちらにするのか伺う。

町長 今、定例会初日の行政報告で述べたとおり、統合する時期はまだ決定していない。これから決定したいと考えている。

▼大草地内の田んぼに設置された電気柵



問 原発事故以降急増している野生の動物、タヌキ、ハクビシン、イノシシなどによる農作物の被害が浅川町でも多く発生している。農作物が、収穫を目前にして被害にあっている。最近では、防止するために電気柵を設置する農家が多くなってきた。すでに設置した農家もある。電気柵に助成をお願いしたい。

町長 野生動物による、農作物の被害の通報は年々増えている状況にある。電気柵など、侵入防止柵の助成については、今年度においては、今年度において助成制度の検討を行い次年度から対応したいと考えている。

鳥獣被害から守る 電気柵設置に助成を

次年度から対応したいと 考えている

ゴミ集積所の確保は町が責任を持つべき

町と住民の協力・理解のもと確保したい



上野信直議員

問 ①ゴミ集積所の確保が、特に町場で困難になっている。土地所有者が駐車場にしたいといった事情で新たな集積所を探さねばならなくなっても、容易に見つからず、区長さんが困り果てる場合がある。ゴミを収集・処理する法的責任は町にあるので、集積所を確保する責任は町にあるのではないか。

②集積場所として個人の土地を長年借りている場合、町は何らかの形で謝意を示すべきではないか。

③汚れがひどい集積所を担当する環境美化指導員に、報酬を支払う



▲たくさんのゴミが集まる集積所

べきではないか。

町長 最終的なゴミの処分の責任は行政にあると思う。集積場所の確保については、なお住民の方や代表である区長さんの協力を得る形で当たっていきたい。

②他町村のケースを調べて検討したい。

③現金の支給だと所得税の源泉徴収の問題やマイナンバー提示という問題があるので、区への補助金、謝礼的な意味あいのもので今後検討してまいりたい。

異常に高い借地料への対応は

更新の際に地権者に お願いする

問 昨年、町が借りている土地の中に、土地評価額と比べて異常に高い借地料を払っている所がある問題を指摘した。土地評価額の数10%にあたる借地料を毎年払っている所があり、最高は土地評価額の433%だということだった。これらについて町は、是正するために評価額の3%を基準に交渉しているという回答だった。これらの異常に高い借地料について、その後どう対応したのか伺う。

町長 借地については契約によりそれぞれ借地料を支払っているが、一部に高い契約額になっている場所がある。契約に基づき合意した金額であるものの、更新の際には地権者にお話をしているが、あくまで当初の金額ということだった。今後も更新の際には話し合いをして、お願いはしたいと思う。

統合は子供たちの声も尊重して



角田 勝議員

統合に積極的になれる指導したい

問

この問題は一昨年よりとり上げ「関係者へのアンケートなど準備すべき」と提言してきましたが、6月議会に突然町長から統合を進めるとの表明があり驚いていた。その後数回にわたり話し合いが行われたとのこと。あくまで関係する人々の声を尊重することが原則だ。

- ①話し合いでは、あまりに急で一年遅れでの声が多いとのこと。経過を含めどうするのか。
- ②通学バスや運動着などの要望、時間、料金などの具体的化は。
- ③在学中の子どもたちの声を聞くべき。
- ④町長が話し合いに一

教育長

山白石、里白石両小学校のPTA役員、保護者、行政区長等を対象に協議検討してきたが、統合する時期に2つの考えがあり決定には至らなかった。

スクールバスを町で無料運行する旨の説明をした。運動着も無償で支給したいと考えている。児童の考えを聞いたり懇談はしていないが、統合に向け積極的になれるような指導を考えている。

町長

なるべく自由な雰囲気の中で多くの意見を聞かせていただきたいと考え、遠慮した。

町道を管理する作業員を増員し、賃金も引上げよ

年次有給休暇等の改善を図っている

問

①年々家畜を飼育する農家が減っている。雑草や竹や木などの交通障害を取り除く作業員が一人しかいない。賃金を上げ、待遇改善を図って増員すべきではないか。賃金はいくらなのか。

仕事は充分ある

町長

①毎年、維持管理上必要とされる嘱託職員2名を確保し、諸手当の支給及び年次有給休暇等の改善を図っている。日給は1日6500円となっている。

- ②臨時雇用ではなく、常時雇用とすべきではないか。
- ③町道全ての管理となると増大するばかり。根本的な解決法も検討すべきではないか。冬期間仕事が少ないとのことだが、氷とかしやはがし作業、雪はき、公共施設等の管理など

- ②外部での作業が主であり、年間の業務内容に応じ雇用形態を判断する。
- ③実績を踏まえ、嘱託職員と業務委託を図るなど継続的な維持管理が図れるよう対処する。



▶草刈が進められている町道



視察研修

岩手県紫波町

－オガールプロジェクト－



6月28～29日の2日間、岩手県紫波町で実施された「オガールプロジェクト」を研修しました。紫波町は盛岡市のすぐ南にある人口3万4千人、面積239km²の町。新駅JＲ紫波中央駅西側一団の町有地10・7haを中心とした都市整備を、町民や民間企業の意見

を反映させて取り組んだのが「オガールプロジェクト」でした。平成21年に基本計画を作り着手。26年3月に第1期事業が終わり、役場庁舎、官民複合施設、民間複合施設、戸建宅地、県フットボールセンターなどが完成しました。

広大な遊休地を 官民で共同開発



民間複合施設には、日本発のバレーボール専用アリーナや薬局、コンビニ、居酒屋、ビジネスホテルなどが。



「オガールプロジェクト」は全国から注目されている事業で、研修は他の3つの視察団と一緒に行われました。

シリーズ②

東北の ミケランジェロ

小松 寅吉
(こまつ とらきち)



弘化元(1844)年、山形村(現石川町)に生まれる。高遠藩から浅川町福貴作地区に移り石工をしていた小松利平に弟子入り。白河市東の鹿島神社の狛犬など数々の傑作を残し、東北のミケランジェロとたたえられている。大正4(1915)年に死去。



— 永昌寺の不動明王は小松寅吉作か —

藁谷六郎(文・写真)

江戸時代後期信濃の国高遠(長野県伊那市高遠町)の、小松利平石工が福貴作村(浅川町福貴作)に土着し、小松利平工房を開きました。

利平工房に、山橋村(石川町山橋)から高原寅吉が弟子入りし、高遠石工技術が伝授されました。寅吉の腕と根性を見込んだ利平は、寅吉を養子に迎え入れました。

小松寅吉は、狛犬、大黒、馬の素晴らしい作品を数多く残しています。

最近浅川町で発見された作品では、割柏庄一氏旧家の鯨があります。浅川町福貴作公民館には大型の仁王像、永昌寺には不動明王像があります。

今回は荒町永昌寺にある小松寅吉作品といわれる、不動明

王を紹介させていただきます。

永昌寺の門を潜り境内の東側に、不動明王と両脇侍像が明治42年(石川町史に我妻正一氏)に建立されています。

小松寅吉作といわれていたが、現在は石工不明です。移築するときに、名が記載されていた台座が破損したといわれ、明言できなく現在に至っています。

小松寅吉を調査されていた我妻正一氏が小松寅吉の作品と、言っていたことや、狛犬を研究されている石川町の吉田利昭氏も小松寅吉が使う彫刻技術に良く似ていて、小松寅吉作の確率は高いと言われています。

この不動明王の文献やお話がありまして聞かせてください。

議会傍聴に おいでください

次の定例会は12月7日(木)から
一般質問は8日の予定です

小松寅吉のビデオと講演を2017年11月25日に13時10分より吉田富三記念館研修室に於いて行います。講演者は狛犬の本、神の鑿の作成に最初から関与されていた石川町の郷土史研究家 吉田利昭氏。

入場者50名、参加費無料です。開演時間10分前までに来てください。 寅吉会代表 相田道代

申し込み・問い合わせ/吉田富三記念館
TEL 0247-36-4129



ASAKAWA
ミニバス代表

川音孝彦さん

昨年度浅川ミニバスと山白石ミニバスが合併し、ASAKAWAミニバスとなりました。現在は、浅川小学校と山白石小学校の一年生から六年生までの十四名で活動しています。練習は、火・水・金曜日の夜に浅川小学校体育館で行っています。土・日曜日は、大会参加や練習試合をしています。部員は少ないですが、その分仲が良くチームとしては團結していると思います。部活動を通して上の学年は下の学年の面倒をみ、下の学年は上の学年を模範として挨拶や礼儀等を身に付けていきます。また、チームスポーツですので、助け合いや思いやり、協調性等も育まれると思います。町や町議会への要望としては、①練習拠点として浅川小学校体育館が老朽化してい

安全に2面とれる 新しい体育館があれば

る事。②町民体育館がコート2面使用した際にコート間の距離が近く危険であるが、町内にコート2面使用できる体育館が他に無い事。練習試合等を行う際に、

安全に行う事のできる大きな体育館があればと思います。また、町外のチームと合宿等できる宿泊施設があれば、子供達・保護者間の交流や繋がりが深まると

思います。今後も子供達が安全にスポーツが出来る環境を浅川町及び議会には整備していただける様お願い申し上げます。



編集後記

白山比咩神社例大祭に合わせて、町会ごとに子若連の山車総勢6基が駅前大通りに繰り出し、お祭りイベントが開かれました。太鼓の音が響く中、威勢のよい掛け声とともに、町内を練り歩き祭りを盛り上げていただき、互いに絆を深めました。これからも思いやりの心を大切にしていきたいと思います。 金成英起

広報特別委員会 上野 信直 須藤 浩二 渡辺 幸雄
金成 英起 水野 秀一 久保木 芳夫